

Funehiki High School News vol.86

◆ふねひき夏まつりに日本文化 部よさこい班が出演しました



8月24日(日)、船引駅前公園で、日本文化部がよさこいを披露しました。生徒たちはまつりに向けて、猛暑が続いた夏休み中、課外と両立しながら連日学校内で練習しました。その成果は十分に発揮されたと思います。

同じ日に行われた第65回灯籠流し大会でも本校美術部が出品し、学生の部で田村市教育長賞を受賞しました。



◆「ふくしま教育の日関連事業」 授業公開の実施について

本年度も11月7日(金)、授業公開を行います。日頃、本校の教育活動に対して地域のご支援、ご協力に対する感謝の意味を込めて実施します。

当日は午前中、授業公開を行い、午後は芸術鑑賞会を実施します。落語や切り絵などの古典芸能を楽しむことができますので、ぜひお越しいただき、生徒たちの活動の様子をご覧ください。

◆秋季東北地区高校野球県大会出場が決定しました

8月31日(土)、郡山市・開成山球場で県大会出場をかけて、田村高校と対戦し、8対6で見事勝利し、秋季大会では創部54年目にして初めて県大会出場権を獲得しました。選手たちは夏休み中も県大会出場を目標に猛練習に励み、試合では持ち味の機動力野球を生かして勝利に結びつけました。あいづ球場をメインに9月12日から開幕する県大会では、上位進出を目指して頑張ります。

さらなるご支援をよろしく申し上げます。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...http://www.funehiki-h.fks.ed.jp mail...school@funehiki-h.fks.ed.jp

◆同窓会総会が行われました



8月15日(金)、「ウェディングプラザ丸美」で、同窓会総会が行われました。同窓会会長をはじめ、全国各地から同窓生が出席されました。

総会の後、記念撮影と懇親会が行われました。恩師の先生や卒業生が出席し、盛大に終わりました。



◆生徒を対象に大学見学会を 実施しました

8月9日(土)に全学年の大学・専門学校進学希望者を対象に大学見学会を実施しました。本年度はいわき明星大学を見学しました。生徒は到着後、各自学食で昼食をとり担当者から説明を受けた後、希望する分野に分かれて模擬講義を受けました。将来の進路に向けて深く考察するきっかけになったのではないかと思います。



クライストチャーチ大地震

Natasha Horner
ナターシャ・ホーナーさん
(ニュージーランド
クライストチャーチ市出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	16

2011年にニュージーランドと日本で大地震が起きました。どちらの時も私はその場に居合わせませんでしたが、1週間後に訪れたニュージーランドでその状況と惨禍を目の当たりにしました。以前のニュージーランドは、日本のように地震が頻繁に起きてはいませんでした。クライストチャーチにある建物の土台を揺るがす最初の大きな地震は、2010年の9月でした。その後も定期的に揺れが続きました。そして、2011年2月に最初の大きな揺れが朝の早い時間帯にあって、本震は多くの人々が市の中心街にいる昼時に起きました。その地震の激しさは強烈で、前年に起きた地震の修復で足場が組んであった中心街は、多くの建物が全半壊しました。

私が日本に来て驚いたことは建物の入念な建築方法でした。日本は建築基準が非常に厳しいと思います。日本は厳しい気象や地震の多発国であるだけに、それらの条件を満たす耐久性を持つ建物が建てられています。ニュージーランドでは、クライストチャーチ大地震の後、建物の基準や施工者、建築に必要な条件などに厳しい目が向けられるようになりました。一方、ニュージーランドで地震による災害の発生で誰を責めるかに関心が向けられていた間、日本は最善を尽くして地震の跡片付けや復旧に努めていました。しかもニュージーランドでは、倒壊や損壊した建物によってできた空き地をどうすればよいかという官僚的な考えにとらわれていました。また、余震が頻繁に起きるので、再建の時期はいつが最適かを判断することが困難でした。2013年に私がニュージーランドを離れる時、市の中心街には取り壊す予定の建物と店舗やカフェで使うための輸送コンテナがたくさんありました。余震がだんだん少なくなり、週に1回程度の発生に減っていったのは、私が日本に来てから経験したことと同じです。現在クライストチャーチは、ゆっくりではありますが確実に元の状態に戻ろうとしています。



日本に来て、私はニュージーランド出身でクライストチャーチ大学に通っていたことを話すことがありました。そのとき私を驚かせたのは、日本の人たちも大きな悲劇を経験しているのに、クライストチャーチの人たちに示してくれた共感の大きさでした。このことは私に将来への明るい見通しと希望を与えてくれました。私の国のために心から復興を祈っていただけることに感謝しています。ニュージーランドは日本の繊細さといったわりの心をお手本にすることができると思います。

